

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 245 2012年 8月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

「双子の悪魔」と呼ばれる核兵器の廃絶と原発の廃炉を目指して、猛暑の中、今夏も頑張りました。

1700 人が見た「2012 原爆と人間展」

土浦平和の会も参加する「原爆と人間展実行委員会」主催の2012年「原爆と人間」展は、7月31日から8月7日までの1週間、県南生涯学習センターで開かれました。入場者は延べ 1,753人に達し、高校生や子供ずれの若いお母さん方などが熱心に見入っていました。また、折鶴や核兵器廃絶署名、東海第2原発廃炉署名の呼びかけに、鶴を折る人、署名をしながら原発で話し込む人も目立ちました。

期間中の8月5日のピースデーには、土浦市平和使節団の中学生との交流や朗読、アニメ「はだしのゲン」、短編映画「放射能内部被爆から子供を守る」の上映などに子供たちを含め80名が参加しました。



原爆展での東海第2の廃炉署名は 162筆で茨城県民センターにまとめ、10日第4次分63,746人分を橋本知事あてに提出しました。これまでを合わせると23万6712筆になります。引き続き30万を目標に署名活動と呼びかけています。統一行動は9月7日15時から土浦駅です。多数ご参加期待します。核廃絶の署名は112筆でした。

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

福島原発の被災地見学ツアー参加しませんか

目的：被災地の実態を見聞きして、「原発被災」とは何かを理解する。

日程：9月26日(水)～9月27日(木) 1泊2日

手段：借り上げバス（ニッサン観光）

費用：1万5千円以内

募集地域：県南（土浦・かすみがうら、つくば・牛久・阿見・つくばみらい・守谷・取手・龍ヶ崎）

募集定員目標：45人

申し込み締め切り：8月31日

見学先：南相馬市特に小高地区

案内：南相馬市議 渡部寛一さん、他現地スタッフ

宿泊地：安達太良高原岳温泉（陽日（ゆい）の郷 あづま館）

主催：「福島原発被災地見学企画会（平和行進県南実行委員有志）」

「さよなら原発土浦地域連絡会」

連絡先および責任者：近藤輝男（土浦平和の会）携帯：080-1987-4050

<コラム>

原発による被ばくと恐ろしい差別

ある女性（23）からの手紙です。「東京で就職して恋愛し、結婚が決まって、結納も交わしました。ところが突然相手から婚約を解消されてしまったのです。相手の人は、君には何も悪いところはない、自分も一緒になりたいと思っている。でも、親たちから、あなたが福井県の敦賀で十年育っている。原発の周辺では白血病の子供が生まれる確率が高いという。白血病の孫の顔は不憫で見たくない。だから結婚するのはやめてくれ、と言われたからと。私が何か悪いことをしましたか」と書いてありました。皆さんは、原発で働いていた男性と自分の娘とか、この女性のように原発の近くで育った娘さんと自分の息子とかの結婚を心から喜べますか。いま福島で起こっていることでもあります。

（パンフレット「原発がどんなものか知ってほしい、平井憲夫」より）

活動ごよみ

7・31 原爆展会場設営（生涯学習センター）

7・31～8・7 原爆展（10時～17時）

8・5 ピースデイ（「はだしのゲン」他）

8・15 8・15平和のつどい（ワークヒル）

8・21 平和の会理事会（コープ）

9・7 さよなら原発署名行動（土浦駅）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください